

ランピースキン病の国内発生（続報）

国内の発生状況（12/10時点）

福岡県：18農場

（乳用16、乳用・肉用1、肉用1）

熊本県：2農場

（乳用1、乳用・肉用1）

本病を疑う症状

- ・発熱、鼻汁
- ・皮膚の結節等
- ・泌乳量の低下
- ・リンパ節の腫大



結節（全身性）

米国向け牛肉輸出条件

11/21から開始した福岡県でのランピースキン病ワクチン接種に伴い、12/12以降の米国向け牛肉輸出の条件が農林水産省から以下のとおり示されましたのでお知らせします。

- ・ワクチン接種県由来牛（11/21以降に福岡県に滞在した牛）は、米国向け輸出牛肉取扱施設（以下、米国認定施設）に搬入しない
- ・米国認定施設へのワクチン非接種牛の輸送時には、ワクチン接種牛を同乗させない
- ・ワクチン非接種県の米国認定施設のみ牛肉輸出が可能

なお、福岡県が、ワクチン接種牛に接種証明書を発行するので、当該牛の導入時は証明書を受領し、販売時には販売先へ提出ください。

侵入防止対策を徹底 してください。

- 1 毎日の健康観察：牛の移動時の健康観察の徹底、疑わしい牛の隔離
- 2 害虫の駆除：殺虫剤の散布や粘着シート等の活用
- 3 清掃・消毒：農場内の整理整頓や使用器具・畜舎の清掃と消毒

⚠ 本病を疑う場合は、かかりつけ獣医または家畜保健衛生所に通報ください！

【姫路家畜保健衛生所】TEL:079-240-7085

【朝来家畜保健衛生所】TEL:079-673-2331

【淡路家畜保健衛生所】TEL:0799-45-2411

緊急時：090-5967-0036・0037

緊急時：090-5967-0038・0039

緊急時：090-5967-0040・0041

最新情報は



兵庫県の家保
ホームページ



農林水産省
ホームページ

